

政策	II 夢のふくらむ港・環境にやさしい港	施策推進 責任者	建設部長・企画調整室長・総務部長・港営部長
施策	3 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者など名古屋港に集うあらゆる人びと	意図(どういう状態にしたいのか)	集客施設の開発や運河の再生、イベント開催等により港湾空間の更なるにぎわいや魅力を創出し、ときめきとやすらぎを感じ、親しまれ、みんなの夢がふくらむ港	
	サービスの対象物(何を)	親しまれる施設(集客施設・運河など)やイベントなど			
展開①	うるおい、憩い、にぎわいのある運河の再生	展開②	民間活力による再開発や既存施設の有効活用によるにぎわい創出	展開③	クルーズ船誘致、イベント、景観づくりによる港の魅力や親しみの向上
	中川運河では、沿岸用地へのにぎわい施設の誘導や、緑地・プロムナードの設置、水循環の推進による水質の改善を進めるとともに、水上交通の誘導に向けた体験乗船など、地域住民や企業等との連携を図りながら、うるおいや憩い、にぎわいをもたらす運河への再生を図ります。		名古屋港のふれあい・交流拠点であるガーデンふ頭、金城ふ頭において、民間活力を活用し、新たなにぎわい施設の誘導を進めています。また、水族館などの既存施設についても、集客向上の取組や各施設の連携を図り、本港のにぎわい創出に取り組みます。		国内外クルーズ船会社、船舶・旅行代理店への誘致活動によるクルーズ船誘致や練習帆船・汽船等の誘致・一般公開を実施するとともに、みなと祭などのイベント開催、歴史的港湾施設の保存や景観づくりにより、港の魅力や親しみの向上に取り組みます。

2. Do(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名 (担当課名)	指標名 【指標型】	25年度			26年度			27年度			27年度 の状況	27年度実施事業に基づく評価結果		
			上段: 指標	目標値	実績値	上段: 指標	目標値	実績値	上段: 指標	目標値	実績値		28年度以降の方向性	成果	コスト

【展開①】うるおい、憩い、にぎわいのある運河の再生

施03 事101	中川運河緑地(堀止地区)整備事業 (事業推進課)	事業進捗率(整備費換算) 【進行政管理型】	-	70.4%	65.3%	85.3%(累計)	順調	継続	維持	維持	周辺開発(ささしまライブ24地区)の進捗に合わせて、西側の親水緑地の一部供用開始を平成29年度を目途に整備を進める必要があるため。
			48.7%	56.2%	61.3%	30年度			取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			227,794千円	101,436千円	68,846千円						
施03 事102	中川運河水質改善事業 (事業推進課)	事業の進捗状況 (全7工程) 【進行政管理型】	-	1工程	2工程	5工程(累計)	順調	継続	維持	維持	関係者と調整し、中川運河の水質改善に向けて着実に事業を進めていく必要があるため。
			-	1工程	2工程	30年度			取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			-	29,124千円	40,860千円						
施03 事103	中川運河再生計画の推進 (金城・中川・南5区担当)	計画における施策を 実施した数 (全4施策) 【進行政管理型】	-	2施策	3施策	4施策(累計)	順調	継続	維持	維持	再生計画の施策を推進するにあたっては、多様な主体との連携と運河再生に向けた取組の進行政管理を行う必要があるため。
			1施策	2施策	3施策	30年度			取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			4,011千円	5,032千円	6,621千円						

【展開②】民間活力による再開発や既存施設の有効活用によるにぎわい創出

施03 事201	ガーデンふ頭再開発の推進 (総合開発課)	ガーデンふ頭における にぎわいの創出に向けた検討 の進捗状況(全5工程) 【進行政管理型】	-	-	1工程	5工程(累計)	順調	継続	拡大	拡大	様々な要望がある中で、ガーデンふ頭は親しまれる港づくりの拠点として、にぎわいの創出を早急に図る必要があるため。 【重点化】
			-	-	1工程	30年度完了			資源(財・人)の投入を拡大し、取 組を強化することによって、成果 をあげる必要がある。		
			24,189千円	29,559千円	24,616千円						
施03 事202	金城ふ頭開発事業の推進 (金城・中川・南5区担当)	民間施設の開発誘導までの 進捗状況(全5工程) 【進行政管理型】	-	4工程	4工程	5工程(累計)	順調	継続	維持	維持	金城ふ頭は、モノづくり文化交流拠点構想を踏まえ、交流拠点開発を推進する必要があるため。
			2工程	3工程	4工程	28年度完了			取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			20,148千円	15,856千円	17,838千円						
施03 事203	名古屋港水族館の振興 (関連事業担当)	入館者数 【単年度管理型】	-	210万人	210万人	221万人	目標値 をやや 下回る	継続	拡大	維持	ガーデンふ頭における親しまれる諸施設のの中核施設として、更なる集客に努める必要があるため。
			204万人	196万人	205万人				資源(財・人)の投入は維持した まま、取組を強化することによっ て、成果をあげる必要がある。		
			758,113千円	551,856千円	215,387千円						
施03 事204	魚釣り施設のあり方検討 (企画担当)	検討の進捗状況 (全5工程) 【進行政管理型】	-	3工程	3工程	5工程(累計)	順調	継続	維持	維持	委託調査の結果を踏まえ、引き続き施設の実現の可能性を検討する必要があるため。
			2工程	3工程	3工程	28年度完了			取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			8,475千円	11,107千円	11,603千円						

【展開③】クルーズ船誘致、イベント、景観づくりによる港の魅力や親しみの向上

施03 事301	クルーズ船誘致の推進 (誘致推進課)	クルーズ船入港隻数 【単年度管理型】	-	40隻	40隻	40隻	目標値 をやや 下回る	継続	拡大	拡大	「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」を通じてクルーズ船誘致の検討を進める必要があるため。 ・クルーズ船受入能力向上等を図るべく、ガーデンふ頭3号岸壁延伸等の整備をしていくため。
			38隻	35隻	34隻				資源(財・人)の投入を拡大し、取 組を強化することによって、成果 をあげる必要がある。		
			52,082千円	51,841千円	115,009千円						
施03 事302	名古屋港のPR (広報・にぎわい振興担当)	船舶一般公開見学者数 【単年度管理型】	-	7,700人	7,700人	7,700人	目標値 をやや 下回る	継続	拡大	拡大	利用者ニーズを踏まえ、事業の有効性、効率性に考慮しつつ、事業効果の向上を図る必要があるため。
			7,252人	10,632人	5,058人				資源(財・人)の投入を拡大し、取 組を強化することによって、成果 をあげる必要がある。		
			128,980千円	131,792千円	128,722千円						
施03 事303	名古屋港景観基本計画の推進 (環境担当)	景観審査におけるカラー計画 との整合性率 【単年度管理型】	-	100%	100%	100%	目標値 をやや 下回る	継続	維持	維持	名古屋港の良好な景観形成のため、継続して取り組む必要があるため。
			-	88%	86%				取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			2,947千円	2,991千円	1,853千円						
施03 事304	名古屋港跳上橋整備事業 (環境担当)	事業進捗率(整備費換算) 【進行政管理型】	-	100.0%	100.0%	100%(累計)	順調	完了			歴史的景観資源である跳上橋の保存を目的とした工事が完了したため。
			49.0%	49.0%	100.0%	27年度完了					
			38,024千円	2,467千円	36,603千円						
		施策コスト(合計)	1,264,763千円	933,061千円	667,958千円						

3. CHECK(成果目標の状況・27年度の取組内容など)

施策 成果目標	実績等	年度			目標値 [30年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)	
		25年度	26年度	27年度			
交流施設の来場者数	目標値	万人	-	648	649	830	交流施設への来場者数は、ガーデンふ頭及び金城ふ頭の各施設において開催したイベントや展示などにより、平成27年度の目標値を達成することができました。
	実績	万人	647	630	658		
名古屋港に親しみや魅力を感じた割合	実績	%	-	92	95	毎年度・対前年度比増	「親しみや魅力を感じた割合」のアンケート調査については、「親しみや魅力がまあまあある」の割合が増加したことから、対前年度比増の結果となりました。記述時の回答では、「港のイベントを楽しみにしている」や「整備が進み親しみやすくなっている」などの意見を頂きました。

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)

適正・見直しが必要	(見直しが必要な場合、見直しの方向性を記入)
-----------	------------------------

4. ACTION(課題・28年度以降の取組方針)

27年度に取り組んだ内容	課題	28年度以降の取組方針
<p>【展開①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中川運河(堀止地区)の親水緑地において、西側約0.6haの用地造成を行いました。</li> <li>中川運河水質改善事業として、松重ポンプ所改修の基本設計を行いました。</li> <li>水上交通網の実現に向けた体験乗船を中川運河堀止～ガーデンふ頭間で実施しました。</li> <li>にぎわい施設の公募を実施し、長良橋地区及びいはら橋地区の2か所で事業予定者を決定しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋港関連事業と調整を図りながら一体的な緑地整備を進める必要があります。</li> <li>水質改善事業の推進にあたっては、関係者と調整する必要があります。</li> <li>引き続き、運河再生に向けた取組を推進するとともに、関係機関との連携を図る必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、名古屋港関連事業と連携して親水緑地の整備を進めていきます。</li> <li>水質改善事業については、引き続き、関係者と調整を行い、着実に事業を進めていきます。</li> <li>水上交通の誘導や新たな土地利用の展開を推進するとともに、中川運河再生推進会議において、関係機関との連携や取組の進行政管理を行います。</li> </ul>
<p>【展開②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ガーデンふ頭再開発においては、4号及び20号倉庫を解体撤去するとともに、公募により、ひがし広場Aの暫定利用者を決定しました。</li> <li>金城ふ頭開発においては、レゴランド及びその周辺開発に向けた調整や財産処分手続を行いました。</li> <li>名古屋港水族館については、時節・旬の話題に応じた特別展・イベントの開催などにより、入館者数は前年度比4%増の約205万人に達しました。</li> <li>魚釣り施設の実現性の高い箇所として絞り込まれた鍋田ふ頭東側及び北浜地区の2箇所について、平成27年度からの2箇年で設置可否の検討を行う予定の中、委託調査により、他事例なども踏まえ必要な設備や安全対策等の検討を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガーデンふ頭再開発においては、ふ頭全体の再開発に向けた検討を進める必要があります。</li> <li>金城ふ頭開発においては、レゴランド開業に向けて、交流機能と物流機能との共存を図る必要があります。</li> <li>名古屋港水族館については、集客の取組を強化する必要があります。</li> <li>魚釣り施設のあり方は、交通安全性の確保や埋立計画との整合等について十分考慮しながら検討を進めていく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガーデンふ頭再開発においては、ふ頭全体の機能の配置案を取りまとめていきます。</li> <li>金城ふ頭開発においては、レゴランド周辺開発に向けた用地を名古屋港に貸し付けるとともに、名古屋港が実施している交通対策に協力していきます。</li> <li>名古屋港水族館については、施設の良好な維持管理に努めるとともに、魅力あふれる多彩な展示・イベントの開催により、更なる集客に努めていきます。</li> <li>魚釣り施設のあり方は、委託調査の結果を踏まえ、関係者とも調整しながら、引き続き、施設の実現の可能性を検討していきます。</li> </ul>
<p>【展開③】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係行政機関、団体、企業で構成する「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」での活動を中心に、国内外クルーズ会社等への誘致活動を実施しました。</li> <li>観光庁が推進する訪日旅行促進事業の地方連携事業を活用し、中国のクルーズ船社及び旅行会社を招請して、名古屋港及び背後圏の観光資源の紹介及び意見交換を行いました。</li> <li>金城ふ頭において、大型クルーズ船の入港に対応できる係船柱等の整備を実施しました。</li> <li>Facebookページの運用に代表されるアクセスツールを多様化し、情報発信の充実に努めました。</li> <li>名古屋港跳上橋整備事業は、保存を目的とした橋脚補修や鋼材補強を行いました。【完了】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型クルーズ船の継続的な寄港への取組等は、関係機関やクルーズ船会社との連携・協力が必須です。</li> <li>関係者からの要望意見を聞き、クルーズ船受入能力の向上やポートビル船客待合所の利便性向上のための整備が必要です。</li> <li>情報収集・発信力の強化や多様なニーズへの対応が必要となっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」を通じて関係機関との連携を強化し、県民市民のクルーズ船への親しみを深めるなど、港のにぎわいを創出していきます。</li> <li>クルーズ船受入能力の向上を図るため、ガーデンふ頭3号岸壁の延伸やポートビル船客待合所の利便性向上のための整備をしていきます。</li> <li>更なる効果的な情報発信等を図るため体制を強化します。</li> </ul>